

「学習する組織」の創り方 ワークショップ

起こりうる最良の未来を実現する「学習する組織」を創りたい方のためのワークショップです。

「学習する組織」は、ピーターセンゲ氏の著書で紹介され、今日、世界中の企業や団体に実践されている組織論です。学習する組織の手法は、企業変革の推進にとどまらず、環境問題をはじめとする複雑な社会問題の解決にも活用されています。

学習する組織は、起こりうる最良の未来を実現するために、能力と気づきを高め続けることができる組織です。

ワークショップのテーマは3つです。あなた、他者、チーム夫々の視点で、能力や気づきを高め続けるために必要なことを学びます。学習する組織を創るために、自ら行動したい方にご参加いただきたいです。

【プログラムの対象者と参加目的について】

①大企業病の処方箋として学習する組織を活用したい方

GEのジャックウェルチ氏は、官僚的な大企業であるGEを、大企業のブランドと、中小企業のようなスピードと柔軟性の両方を持つGEに変革させる際に、クロトンビルで実施したリーダーシップ教育に、学習する組織の考え方を取り込みました。

②NPOやベンチャー組織の強化に活用したい方

NPOティーチフォージャパン(現在のラーニングフォーオール)では、創業時から、学習する組織創りに挑戦しています。組織の存続および強化には、チームの学習力が不可欠です。職員もボランティアも、全員自己マスターと共有ビジョンを意識して、活動しています。

③プロジェクトチームの強化に活用したい方

優秀な人が集まっても、チーム学習がうまく機能しないと成果を出すことができません。個人の力を最大化することと、チームの力を最大化することを共に実現することは簡単ではありません。学習する組織を創ると、1人では実現することが不可能な大きな目標を達成することが可能になります。



学習する組織
(英治出版)



チーム・ダーウィン
(英治出版)

◆日時:2015年7月19日(日) 10:00~18:00 (受付は9:30より開始)
2015年7月20日(月) 10:00~16:30

◆場所:東京都渋谷区恵比寿西1-33-18 コート代官山 B1F 「Goblin代官山」
<アクセス>「恵比寿駅」下車 恵比寿駅西口より 徒歩 約6分

◆参加費:38,000円(チームでのご参加の場合は、別料金をご用意していますのでご相談ください)

◆お申込フォーム: <http://bit.ly/1HylFGr>

◆お申込締切:7月10日(金) <会費のお振込み確認ができましたら申込完了とさせていただきます>

◆問い合わせ:一般財団法人 クマヒラセキュリティ財団 office-h@kumahira.or.jp

本ワークショップ参加費は、クマヒラセキュリティ財団への寄付となります

【講師:熊平美香プロフィール】

ハーバード大学大学院MBA終了。

一般財団法人クマヒラセキュリティ財団 代表理事、株式会社エイテッククマヒラ 代表取締役。

学習する組織、リーダーシップ、チームビルディング、アントレプレナーシップを専門とし、学校・企業・NPOや個人に対してコンサルティングを行う。

NPO法人Teach For Japan理事に就任し、組織開発や研修を担当。

未来の社会、未来の人、未来の教育のあり方をマルチステークホルダーで共に考え、豊かな現実を創造していくためのプロジェクト「未来教育会議」を博報堂と共に立ち上げ、実行委員会代表に就任。

昭和女子大学 キャリアカレッジの学院長に就任し、女性の社会での活躍を支援する。

AFS日本協会の理事長に就任し、異文化交流を通してグローバル人材の育成に従事する。

HBS Japan Advisor Boardに就任。



クマヒラセキュリティ財団 ご挨拶

クマヒラセキュリティ財団は、教育と学習のイノベーションを通して、安心安全な社会の実現に貢献します。

1991年の設立以来、本財団は、科学技術研究への助成、セキュリティに関する研究会などを通して、安心安全な社会の実現に貢献して参りました。

今、時代は大きな転換期を迎えています。

社会はますますグローバル化し、世界的な規模で経済活動が展開され、環境問題や人口問題、食糧問題、エネルギー問題は日々複雑化しています。日本に目を向ければ、少子高齢化問題、震災復興など、解決しなければならない問題が多くあります。このような時代に、安心安全な社会を実現するために、私たちに何ができるのでしょうか。すべての問題を解決することは、到底不可能です。そこで私たちが目指すのは、問題を解決できる人が一人でも多く生まれる土壌づくりに貢献することです。

教育と学習のイノベーションの第一弾として、オランダの初等教育プログラムであるピースフルスクールプログラムの日本での導入に取り組みます。幼稚園、小学校を中心に、地域社会をも巻き込んで、建設的に議論して意思決定する習慣や、コンフリクト（対立）を子ども自身で解決することを教えるこのプログラムは、将来の民主的な社会の担い手となり、平和な社会を構築する人材を育てます。

大きな問題に対して、はじめから一つの「正解」などありません。

個人が解決できる問題にも限りがあります。

ピースフルスクールのプログラムを通して、まずは小さなコミュニティから一人ひとりが自分の意見を持ち、対話を通して、コミュニティとしての合意形成を実現する経験が、やがて大きな世界において、対立を乗り越え、多くの人と協力して問題を解決できる原動力になるはずです。

ピースフルスクールプログラムを子ども達に届けるためには、大人の実践者・ロールモデルの存在が不可欠です。ぜひ、私たちの活動にご参加ください。



ピースフルスクールとは

ピースフルスクールプログラムとは、子どもたちが自ら安心安全なコミュニティをつくるための教育プログラムです。建設的に議論して意思決定する習慣を学ぶことと、コンフリクト（対立）を子ども自身で解決することを軸として、民主的な社会の担い手であり、平和な社会を構築する力をもつ人を育てます。

このプログラムは、1999年、学校風土や教室の雰囲気改善することを目標に、オランダで学校教育として開発され、現在、オランダ全土で600校以上の学校が採用しています。ユトレヒト市では、大人も子どもと共に学ぶピースフルコミュニティも生まれています。

日本では、幼児用・小学生用のプログラムを展開しており、2014年度より、佐賀県武雄市武内小学校（代田昭久校長）でパイロットプログラムが開始しました。

授業では体験活動を通して21世紀を幸せに生きるために必要な力を学び、日常生活で実際に使うことでスキルとマインドを身につけることができます。

【武内小学校 ピースフルスクール授業風景】

